

平成 24 年度第 14 回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会

取り組みに至る背景・事業の目的

木島平産米は品質が非常に良いものの、知名度が低いことなどから、市場での評価が必ずしもそれに見合うものではなかった。そのため、「木島平米プロジェクト」を立ち上げ、品質の向上と販売力の強化を推進してきた。

その一環として、米の全国レベルの米の品評会（コンクール）を開催することにより、更なる品質向上に向けた生産者の意識高揚と地域全体の盛り上がりを図るとともに、マスメディアを通じて消費者の注目を集めることにより、木島平米を内外に PR し、米を中心とした農業・農村の振興を目指す。

事業内容

日本全国及び海外の農家を対象に、米のコンクールを実施した。審査は食味計・味度計と呼ばれる 2 種類の機械で上位入賞者を選出し、更にコンクール当日官能審査（審査員による食べ比べ）を行うことで、公平・公正を期した。なお、出品した全農家に結果を返却した。

- 期 日：平成 24 年 11 月 22 日～23 日
- 会 場：木島平村体育館及びその周辺
- 出品数：国内農業者、高校、小学校、海外から
合計 3,915 点（過去最多）
- 参加者数：2 日間延べ 1,600 人



【大会の様子】

事業効果

今回の「第 14 回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」では、100 分の 1 の狭き門を通過し、最高峰部門である「国際・総合部門」に村内から 4 人の生産者が入賞し、うち 3 人が金賞に輝いた。これにより、2008 年以降 5 年連続での入賞を果たすことができた。

さらに農業高校部門では下高井農林高校が金賞を受賞し、小学校部門では木島平小学校が 3 年連続で金賞を受賞するなど、国際・総合、高校、小学校の主要 3 部門で木島平米が金賞を受賞するという本コンクール初の快挙を成し遂げた。

このことにより「長野県産米」及び「木島平米」の品質の高さを広く印象付けることができ、「木島平米の更なるブランド化」につながる大会となった。

また、関係者全体で一致団結し、注目度の高い大会を成功させようという気持ちから、地域全体の元気づくり、盛り上がりにつながり、改めて木島平村・木島平米への誇りを感じられる場となった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

今大会での成果を一過性の盛り上がりとしないうえ、引き続き栽培技術向上を目的とした研修会や講習会の開催や販売力の強化に取り組み、生産者が意欲を持って米づくりができる環境づくりを進めていく。

また、上記の取組とあわせ、他地域でのコンクールへの出品を通して、生産者の意識高揚及び他地域の生産者との情報交換等による生産技術の更なる向上により、木島平米の品質向上を図り、木島平米のブランド確立を目指す。

【選定のポイント】

米の出展数は過去最高の 3,915 点、2 日間の延べ参加者数は 1,600 人で 100 分の 1 の狭き門を通過し、最高峰部門である「国際・総合部門」に村内から 4 人の生産者が入賞し、うち 3 人が金賞に輝いた。この取組により木島平米をはじめ、北信管内の米の品質の高さを広く印象付けることができ、ブランド化の確立に弾みがついた。

団体名 木島平農村交流型産業推進協議会	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 0269-82-3111	事業費	4,521,214 円
メールアドレス info@nabekura.net	支援金額	3,931,000 円

